

平成 2 2 年度事業実施報告書

I. 食育の推進に関する活動

(1) 普及活動

1) 調理講習会

実施支部 26 支部 36 か所 参加者 1,496 名 (H21 実績 23 支部 31 か所 参加者 1,168 名)
実施状況及び実施報告は別紙の通りです。

2) 親子料理教室

実施支部 21 支部 73 か所 参加者 2,886 名 (H21 実績 23 支部 83 か所 参加者 3,695 名)
実施状況及び実施報告は別紙の通りです。

3) 講師の紹介及び派遣

(社) 全国学校栄養士協議会や (財) 都道府県学校給食会等からの要請により講演・研修会等に講師の紹介及び講師を派遣しました。

○講演講師の紹介

<講師> (社) 全国学校栄養士協議会 理事 駒場啓子氏

主催 京浜栃木野菜研究会 (会員 31 社) 参加者 40 名 (含む、全農とちぎ)

「学校給食からみた子どもの食事と嗜好性」(平成 22 年 5 月 25 日 五反田ゆうぼうと)

○調理講習会の講師として派遣

<講師> 栄養士 山下和子氏

主催 福岡県学校給食研究協議会 (財) 福岡県学校給食会 (平成 22 年 8 月 26 日)

(於: 福岡県学校給食会 参加者 60 名)

<講師> 栄養士 博多晶子氏

主催 北海道十勝管内 学校給食研究協議会 (平成 22 年 11 月 4 日)

(於: 幕別町百年記念ホール 参加者 21 名)

主催 静岡県学校給食栄養士会 (平成 22 年 11 月 20 日)

(於: 沼津市第五地区センター 参加者 30 名)

主催 (社) 全国学校栄養士協議会 神奈川県支部 (平成 22 年 12 月 9 日)

(於: 神奈川県学校給食会館 参加者 35 名)

主催 愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会 (平成 23 年 1 月 8 日)

(於: 小牧市まなび創造館 参加者 30 名)

主催 静岡県学校給食栄養士会（平成 23 年 1 月 29 日）

（於：浜北市なゆた・浜北食工房 参加者 30 名）

主催 （社）全国学校栄養士協議会宮城県支部 食品開発検討委員会（平成 23 年 2 月 10 日）

（於：仙台市木町通市民センター 参加者 32 名）

主催 （社）全国学校栄養士協議会 千葉県支部（平成 23 年 2 月 19 日）

（於：八千代市立八千代台公民館 参加者 39 名）

主催 （社）全国学校栄養士協議会 青森県支部（平成 23 年 2 月 25 日）

（於：青森県学校給食会 参加者 41 名）

<講師> 栄養士 久保幸代氏

主催 島根県学校栄養士会（平成 22 年 11 月 9 日）

（於：島根県教育センター浜田教育センター 参加者 41 名）

主催 奈良県学校給食会 学校給食栄養研究会 学校給食指導研究会（平成 22 年 12 月 3 日）

（於：奈良県立学校給食総合センター 参加者 60 名）

<講師> 栄養士 浜口一美氏

主催 広島県栄養士協議会海田ブロック（平成 22 年 11 月 16 日）

（於：広島県学校給食総合センター 参加者 60 名）

○講師派遣

<講師>（財）学校給食研究改善協会 常務理事 芝原和彦氏

演題 「日常生活の場におけるコーチング」

主催 （社）全国学校栄養士協議会 岩手県支部（平成 22 年 6 月 18 日）

参加者 120 名（於：サンセール盛岡）

主催 東京都教育庁地域教育支援部（平成 22 年 7 月 28 日）

参加者 500 名（於：東京都公文書館）

主催 （社）全国学校栄養士協議会 福岡県支部（平成 22 年 8 月 26 日）

参加者 60 名（於：福岡県学校給食会）

4) 協会設立 50 周年記念式典・記念祝賀会

平成 22 年 11 月 19 日（金）11 時よりホテルニューオータニにおいて、文部科学省スポーツ・青少年局長 布村幸彦氏、愛媛県知事 加戸守行氏、（社）全国学校栄養士協議会 名誉会長 田中 信氏、及び雪印乳業（株）代表取締役社長 井戸田 正氏はじめ多数のご来賓のご臨席をいただき、記念式典・記念祝賀会を開催しました。

また、同式典において「第4回学校給食・学校における食育に関する絵画募集」の最優秀賞受賞者を保護者と一緒に招待し、表彰を行いました。

尚、同絵画の審査には東京藝術大学 絹谷幸二名誉教授に特別審査員をお願いしました。

(2) 広報活動

1) 機関情報誌「すこやか情報便」の発行

本機関紙は、学校給食関係者への学校給食及び食育に関するホットな情報を提供する情報誌です。発刊後、「各種講習会や講演で配布したい」「(行政や教育現場で)資料として利用したい」との要望が複数寄せられ、都度送付して有効活用いただいています。平成22年度は2回発行しました。

○「すこやか情報便」第9号(平成22年7月20日発行)

～学校給食における食中毒“ゼロ”をめざした取組と成果～

一般社会における食中毒は増え続けているにもかかわらず、「平成21年度の学校給食における食中毒発生件数が1件」という事実は国や(独)日本スポーツ振興センター、衛生管理の指導者、学校給食関係者の血のにじむような日々の努力によって得られた結果であることを誌上で紹介しました。

○「すこやか情報便」第10号(平成23年2月21日発行)

～第51回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会から～

特別シンポジウム「世界的視野をもった栄養教諭を目指して」を誌面に再現しました。

<コーディネーター> 文部科学省 スポーツ・青少年局

学校健康教育課 学校給食調査官 田中 延子

<シンポジスト>

女子栄養大学短期大学部	教授	金田 雅代
東京医科大学	兼任教授	中村 明子
社団法人日本栄養士会	会長	中村 丁次
お茶の水女子大学大学院	教授	山本 茂
和歌山県和歌山市立宮前小学校	栄養教諭	湯川 真理

2) ホームページを更新しました。(平成22年3月25日)

給食事業者需要喚起事業の一つとして、レシピページに「新・国産食肉を使用した学校給食用献立」を新たに掲載し、併せ、レシピ検索機能を付与することにより使い易くしました。

3) 改善協会ニュースレター

本年度も新聞記事等最新のニュースをお役立ち情報として、10回配信しました。

4) 学校給食をテーマとした絵画展示

下記大会に絵画作品を展示し食育の推進に努めました。食育推進全国大会では学校給食関係者以外の一般の方々にも絵画を通して広く学校給食の現状等普及に努めました。

1. 第5回食育推進全国大会（平成22年6月12～13日 於：佐賀県佐賀市）
2. 第51回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会（平成22年8月5～6日 於：和歌山県和歌山市）
3. フードシステムソリューション2010（平成22年9月22～24日 於：東京ビッグサイト）
4. 第61回全国学校給食研究協議大会（平成22年11月11～12日 香川県高松市）

II. 学校給食事業に関する助成

下記の団体に対し事業運営費の助成を行いました。

- (1) (社) 全国学校栄養士協議会（会長 市場祥子）
- (2) 日本学校調理師会（会長 山本五十六）

～学校調理師研究大会「食の安全に関する調理員講習会」～
（平成22年8月3～4日 昭和女子大 人見記念講堂）

III. 学校給食の状況に関する調査研究等

(1) 学校給食・学校における食育に関する絵画募集

今回は協会設立50周年記念の冠事業として絵画の募集を行い、平成22年11月19日開催の記念式典において文部科学大臣賞はじめ特別協賛企業最優秀賞までの11名の受賞者を招待し表彰式を執り行いました。また、各地の新聞や月刊誌・季刊誌等に作品が多く掲載されました。

○応募総数 6,119点（学校数 814校）

○入賞 142点

(2) 給食関係者等との連携強化

1) モニター制度の継続

平成12年度より始まった品質等調査研究員（モニター）制度（各2年間）は5回目の改選期を迎え新たな陣容（132名）でスタートしました。（社）全国学校栄養士協議会の協力を得て、47都道府県の栄養教諭・学校栄養職員のモニターより、学校給食の食材等に関する意見・提言をいただき、本年度（平成22年9月～平成23年3月）の実績は281件です。（平成21年度は260件）詳細は別紙の通りです。尚、現在のモニターは平成24年3月まで継続の予定です。

IV. 給食物資に関する調査研究並びに供給

(1) 学校給食用優良食品開発研究

- ・菜の花ふりかけ（配合変更）
- ・スクールがんもどき（リニューアル）
- ・スクール豆グラタン（リニューアル&休売）
- ・青大豆ペースト（全学栄すいせん製品として新規に申請）
- ・スクールかに（リニューアル）
- ・ほぐしささみ水煮（ほぐしムラ改良）
- ・ブルーベリーゼリー（原料購入先変更）
- ・沖縄カットパインハーフ（休売）
- ・かぼちゃチーズフライ・スクールチーズフォンデュサンドコロッケ（工場変更）
- ・プルーン（取り扱い方法の変更）

(2) 全学栄製品・全学栄すいせん製品の認定業務

「全学栄すいせん製品 製造工場認定基準」による製造工場視察を行いました。

- ・八尋産業株式会社（平成 22 年 5 月 7 日）
- ・株式会社トミイチ（平成 23 年 1 月 12 日）
- ・株式会社スギヨ 北海道工場（平成 23 年 1 月 13 日）
- ・サンマルコ食品株式会社（平成 23 年 1 月 14 日）
- ・ADEKA クリーンエイト株式会社（平成 23 年 2 月 9 日）

*全学栄製品・全学栄すいせん製品一覧表をリニューアルし、調理講習会、第 5 回食育推進全国大会、第 51 回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会、及び第 61 回全国学校給食研究協議大会において約 2,500 部配布し、全学栄製品・全学栄すいせん製品の普及に努めました。

(3) 学校給食用脱脂粉乳供給事業

1) 平成 22 年度は千葉県・長野県が脱退した為、前年比 92%の供給量に止まりました。

2) リーマンショック後の米国金融緩和により、過剰流動性が発生し、世界的に原油をはじめとする商品相場が上昇。これにつられ食品相場も高止まりし、酪農乳製品市況も高値安定で推移しました。

また、3 月 11 日に発生しました東日本大震災による国内の酪農乳業界への影響が今後の乳製品市況に大きなインパクトを与えることになるかも知れません。

V. 学校給食への国産食肉の普及推進事業

(独) 農畜産業振興機構が公募した「国産食肉需要構造改善対策事業」に係る給食事業者需要喚起事業の実施主体として本事業を実施しました。

平成 22 年度は 14 県で事業を実施し、実施状況は別紙の通りです。

また、国産食肉を使った学校給食用レシピを当協会ホームページに掲載することにより、国産食肉の普及に努めました。

VI. その他

(1) 寄付募集の拡充

当協会の事業目的に賛同頂く個人の皆様より平成 21 年から 22 年の 2 年間に 683 千円のご寄附を頂きました。この浄財は絵画募集事業の費用の一部に充当しました。

(2) 新公益法人への移行準備

平成 22 年 12 月 8 日に申請し、平成 23 年 3 月 25 日に内閣府より公益財団法人としての移行認定を受けました。